

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

幼児期までに育ってほしい10の姿は、
 幼児教育の達成目標ではなく、
 育ってほしい姿の「方向性」です。
 赤城青少年交流の家の「ササビー広場」や
 「体育館等」での活動の中で、
 幼児の色々な姿が現れてくると思います。
 幼児の具体的な姿を通して、
 「子どもたちの育ち」を捉えてください。



10 豊かな感性と表現

9 言葉による伝え合い

2 自立心

1 健康な心と体

3 協調性

4 道徳性・規範意識の芽生え

5 社会生活との関わり

7 自然との関わり・生命尊重

6 思考力の芽生え

8 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚



遊んで身に付く36の基本的な動き

体のバランスをとる動き



体を移動する動き



物を操作する動き



●考案/山梨大学教授 中村 和彦氏 (出典:「遊んで身に付く36の基本的な動き Vol.1」国立青少年教育振興機構)